

和地ひとみレポート No.184

平成28年消防出初式 東大和市の火災被害の状況は？

■今年は一小で消防出初式



…新年の恒例行事のひとつ「消防出初式」。東大和市では、毎年、地域を変えて出初式が行われます。今年市は南側に位置する二小を会場とし、市内の消防団

7団が集結し、開催されました。(H26年は五小が会場、H27年は一中が会場)当日は、天候も穏やかで、多くの地域の皆様が会場を訪れており、出初式の華とも言える最後の一斉放水では、青空の中に勢い良く水柱が立ち、大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

…出初式では東大和市消防団長の中澤氏の訓示、市長の式辞、また、北多摩西武消防署長からの挨拶などが行われますが、それらの中で触れられた一つ目の大きなことは、昨年発生した、茨城県常総市の鬼怒川の氾濫の被害です。昨年も台風、大雨などの発生による被害が各地で発生しましたが、最大の被害といえるのが鬼怒川の氾濫でした。幸い、東大和市ではこれらの天候による大きな被害はなく、悪天候による消防団出動も警戒、点検のみで終わったようです。

…また、昨年が阪神大震災発災から20年目の節目の年だったことも話の中では触れられました。昨年は東京都から各家庭に「東京都防災ブック・防災マップ」が配布されたので、読まれた方も多いと思います。首都直下地震は30年以内に70%の確率で発生すると予測されています。

この30年以内が“いつ”なのかは、様々分析しても、“〇月〇日の〇時だ”と特定はできない状況です。

出初式の様々話を聞き、改めて日頃の備えの重要性を確認された方も多いと思います。

■東大和市の状況は



…近年の東大和市の火災件数などの状況は下記の通りです。出初式では前年の被害状況が話の中で出ますが、平成25年の出初式から3年連続で「東大和市は火災による死者が出ていない」ということが触れられており、この記録を毎年更新していきたいと話されていました。

…しかし、残念ながら昨年出初式では、その前年に発生した火災で、死者が出る痛ましい結果となってしまいました。昨年も痛ましい被害が出てしまいましたが、火災件数と比較して焼失面積が極端に減少したことが消防団長の訓示の中で取り上げられていました。これは、市内で発生した火災の教訓を活かし、消防団を中心に、地域で「家庭用消火器」「簡易消火器」の必要性を訴えてきた効果の表れだと思います。

…高齢者だけでお住まいのご家庭では、家庭用の小さな消火器の扱いも困難な場合があるため、消防団ではスプレー式の消火器の紹介などもしています。実際に、台所で鍋から火が出た際も、消防団が駆けつける前に、自宅の消火器で消火でき、大事にいたらなかった例もあるようです。

…私たちの地域では消防団の団員の方々が地域の安全安心を守ってくれています。しかし、その消防団員も定員189名のところ、現在は174名と定員を満たしていない状況で、各団員の負担は大きくなっています。天災を止めることは困難ですが、火災は各自で防ぐことが可能です。プライベートを犠牲にして安全を守ってくださっている消防団の皆さんの出動が、今年ができる限り少なくなるよう、一人ひとりが日頃から備え、気をつけることが重要だと思いました。

【東大和市の火災件数と焼失面積等】

(資料：北多摩西部消防署)

年 (平成)	火災件数 (件)							焼失面積 (㎡)			死傷者 (人)	
	総数	建物				その他		建物	その他	総数	死者	負傷者
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	車両	その他					
22	41	3	3	2	9	6	18	350	-	350	1	14
23	39	-	1	2	14	7	15	50	-	50	-	2
24	30	-	1	2	11	3	13	30	-	30	-	6
25	31	-	-	4	14	5	8	31	-	31	-	6
26	21	2	1	4	7	-	7	268	-	268	3	2
27	34	-	-	3	10	2	19	15	-	15	1	4

※火災件数の「車両」は放火と事故によるもの ※焼失面積の「その他」は林野など

市長と語ろう会「タウンミーティング」と下水道料金の改定説明会など 様々な会が催されるが・・・



■1月に開催される「会」は

…今月は、市政に関する「会（＝説明会）」が様々な開催されます。一つ目は、以前のこのレポートでも取り上げた「下水道料金の改定」に関する説明会です。この料金改定は、まだ市議会に議案としてあがってきませんが、市は市民説明会を開催し、その意見を踏まえて改定案を固め、議案として提出したいと考えています。

…もう一つの市政に関する重要な「会」としては、市長と語ろう会「タウンミーティング」の開催が挙げられます。今回のテーマは「家庭系廃棄物の減量について」です。この市長と直接話ができる「タウンミーティング」は年に何度も開催されるものではありません（1テーマあたり2回程度。年2～3テーマ）。

今回のテーマを「家庭系廃棄物の減量」とした理由は、家庭系廃棄物の有料化から1年が経過したためとされています。

■市民の関心のあることは

…確かに、家庭系廃棄物の有料化から1年を過ぎた段階で、市民にその結果を報告し、市民の意見や質問を受けることは重要ですが、家庭系廃棄物の有料化後の様々なデータは、昨年末、各家庭にそのレポートが配布されたところです。一方で、12月議会で可決成立した「国民健康保険税条例の一部改正」や、現在、検討されている「下水道料金の改定」などは、最近の市政の大きなトピックだと思います。

…「国民健康保険税条例の一部改正」については、担当部署から市民向け説明会を開催する予定と聞いています。また、今後、議案として出される「下水道料金の改定」についても今月、担当部署が説明会を開催します。

…家庭系廃棄物の有料化が施行される前は、市長自らがタウンミーティングで取り扱い、市民に市のごみ行政の現状などを説明しました。また、担当部署でも様々な場所に出かけて、説明会を実施しました。その結果として、スタート時は大きな混乱もなく、多くの市民の方々にご理解をいただいた状況で始められたのだと思います。

■「会」の目的は

…先に述べたように「下水道料金の改定」については、市民に下水道事業の赤字の状況、下水管の老朽化の危険性などを説明し、改定案について理解を求めたいと市は考えています。尾崎市長は前期から、市民との対話の場として「タウンミーティング」を開催しており、そこから得られた市民の声を市の様々な施策や事業の参考にしているようです。そして家庭系廃棄物有料化実施の際は、こうした市民との対話の場を多く持つことにより、理解が広く得られたという効果があったと思います。

…「国保税の改定」「下水道料金の改定」は、大きく言えば『値上げ』ということです。この改定は必要不可欠だとは思いますが、市政運営を預かる市は、こういう時こそ、市民の理解を求めするために、より多くの市民との対話の場を設定すべきです。

…以前の議会で「市の広報」について私は取り上げたことがありますが、広報は「お知らせしました」という事実作りが目的ではないはず。今回の様々な説明会も「説明会を開催」することが目的ではなく、「より多くの市民に理解してもらいたい」ということが目的。そういう意味では、せっかく市長が作り出した「市民との対話の場」であるタウンミーティングでも「市の下水道事業の状況」について取り上げて頂きたかったと思います。「家庭系廃棄物の有料化」の時の、良い事例を他の部署、事業にも活かすことが、市民と信頼関係のある市政の前進につながると考えます。

【市長と語ろう会「タウンミーティング」】

テーマ：家庭系廃棄物の減量について

会場：市役所会議棟

日時：

①1月16日（土）10：00～11：30

②1月20日（水）19：00～20：30

【下水道料金の改定説明会】

会場：市役所会議棟

日時：1月23日（土）①14：30～ ②18：00～

1月24日（日）①10：30～ ②14：30～

1月27日（水）①14：30～ ②19：00～

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102